



# 株式会社UKCホールディングス 2017年(平成29年)3月期第3四半期 決算補足説明資料

---

2017年1月30日



株式会社 UKCホールディングス



# 目次



## 2017年3月期 第3四半期決算(連結)概況

事業セグメント	4
2017年3月期 第3四半期 ハイライト	5
2017年3月期 第3四半期 半導体及び電子部品事業	6
2017年3月期 第3四半期 電子機器事業	7
2017年3月期 第3四半期 システム機器事業	8
2017年3月期 第3四半期 財政状態(バランスシート)	9

## 2017年3月期 通期連結業績

2017年3月期 通期連結業績／配当予想	11
----------------------	----





# 2017年3月期 第3四半期決算(連結)概況

# 事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、パワー、その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル DDS (Dust Detection System) 事業※	店舗、工場、オフィス、メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、一般企業、教育機関、医療機関、半導体製造装置メーカー、システムインテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、出入管理端末	電子決済市場、デジタルサイネージ市場、PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、太陽電池メーカー

※太陽光発電における太陽光パネル表面上の汚れや温度上昇等に起因する発電効率の劣化を測定するセンサーを内蔵する機器の開発・設計・製造・販売事業と発電効率に関するデータ提供を行うサービス事業からなる

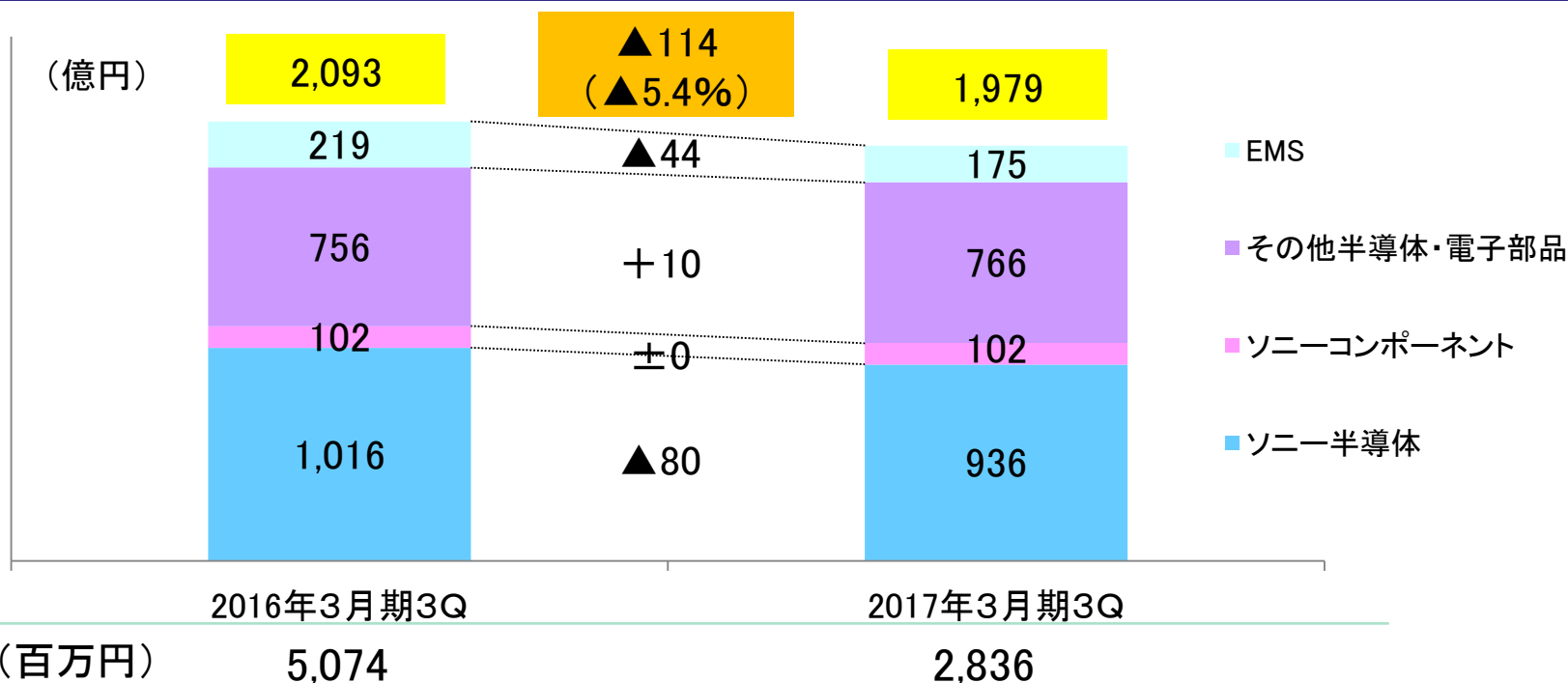
# 2017年3月期 第3四半期 ハイライト



(単位:百万円)	2016年3月期3Q累計		2017年3月期3Q累計		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	増減金額	増減率
売上高	221,128	100.0%	209,106	100.0%	▲12,021	▲5.4%
売上総利益	13,640	6.2%	11,043	5.3%	▲2,596	▲19.0%
SGA	8,758	4.0%	8,434	4.0%	▲323	▲3.7%
営業利益	4,882	2.2%	2,609	1.2%	▲2,273	▲46.6%
経常利益	4,508	2.0%	2,421	1.2%	▲2,086	▲46.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,133	1.4%	1,575	0.8%	▲1,557	▲49.7%
EPS(円)	199.59		100.37			

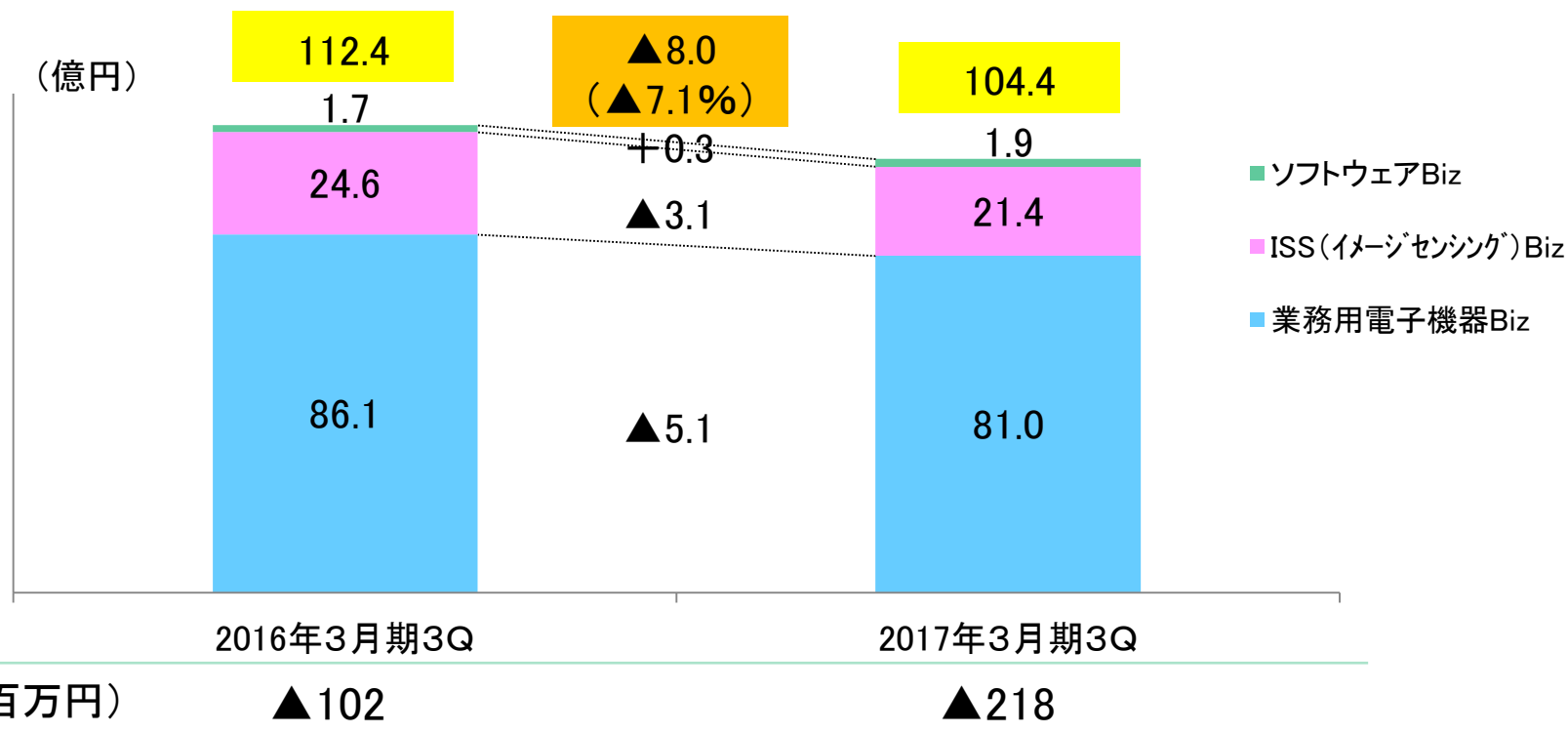
- ▶ 売上高:前年同期比▲120.2億円(▲5.4%) 円高(為替影響約▲200億円)と熊本地震の影響(50億円弱)により前年同期比減
- ▶ 売上総利益:前年同期比▲26.0億円(売上総利益率▲0.9%)  
上期の急激な円高の進展に伴うドル建て取引における仕入時と販売時の為替レートの差異による原価率悪化等により大きく減少。11月以降の円安の好影響は主に4Qに実現見込
- ▶ 営業利益:前年同期比▲22.7億円(▲46.6%)  
SGAは3.2億円減となったものの、売上総利益の減少が大きく、前年同期比大幅減
- ▶ 経常利益:前年同期比▲20.9億円(▲46.3%)  
11月以降の円安傾向に伴う為替差損益の改善(前年同期257百万円差損⇒44百万円差益)はあったものの、営業利益減が大きく、前年同期比大幅減
- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益:前年同期比▲15.6億円(▲49.7%)

# 2017年3月期 第3四半期 半導体及び電子部品事業



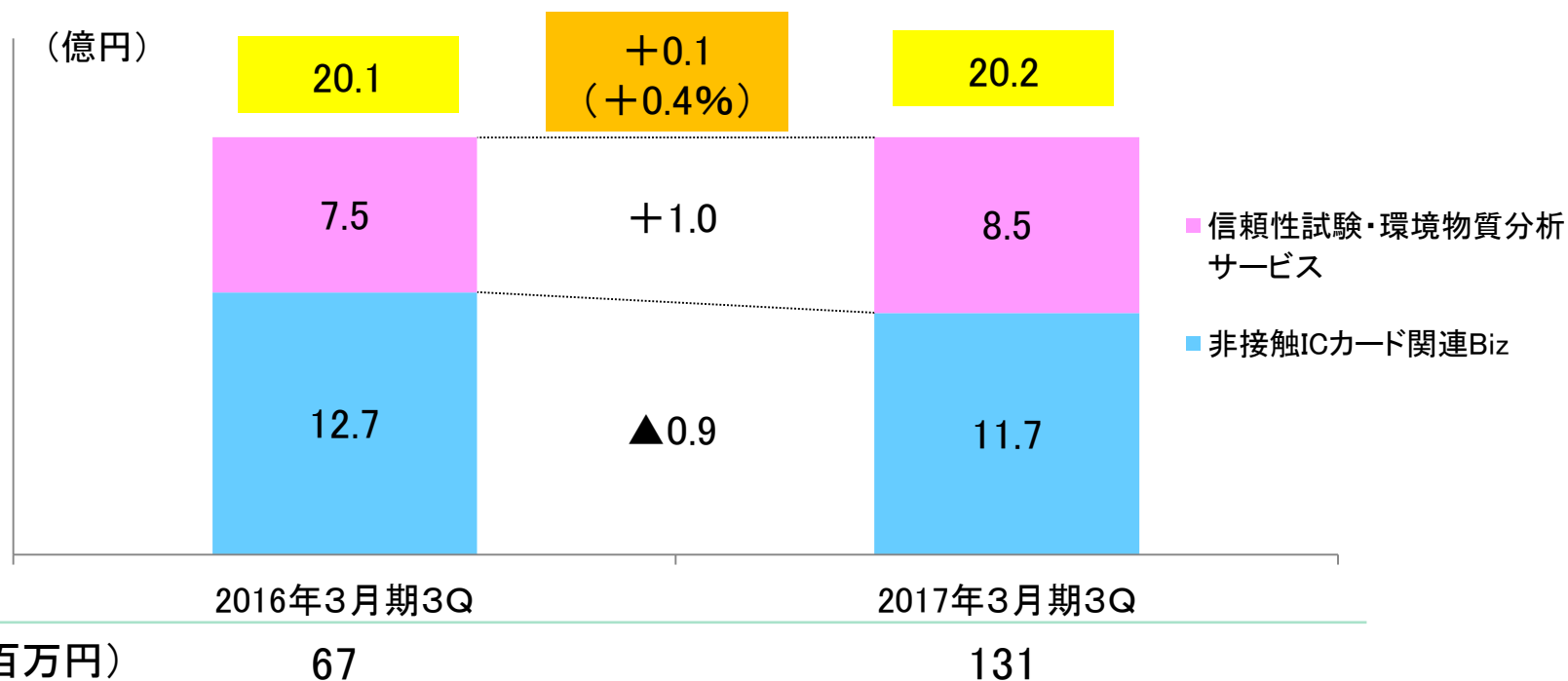
- ソニー半導体: 円高の影響に加えて、熊本地震の影響による一部製品の販売機会損失もあり、減収
- その他半導体・電子部品: 産機向け製品等の売上が伸長
- EMS: 中国自社工場(携帯端末向け部品基板実装)は引き続き堅調に推移も、前年同期は撤退したファブレスEMSの売上が6億円あったことに加え、円高や部品の無償支給割合増加の影響もあり、前年同期比減収  
事業の収益性は前年同期より向上
- セグメント利益は、上期の急激な円高の進展に伴うドル建て取引における仕入時と販売時の為替レートの差異により、原価率が悪化したことや市場競争の激化等の影響により、大きく減少

# 2017年3月期 第3四半期 電子機器事業



- 業務用電子機器ビジネス  
第3四半期の売上高はほぼ計画通りだが、大型案件が集中した前年3Q比で減少
- イメージセンシングビジネス  
3Qに入り、熊本地震の影響による監視カメラ製品の調達難はほぼ解消も、一部顧客の設備投資減の影響あり
- セグメント損失は、売上減の影響で悪化
- 通期売上高、利益ともに第4四半期での挽回を予定

# 2017年3月期 第3四半期 システム機器事業



- 非接触ICカード関連ビジネス  
電子マネーや出入管理関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しているものの、足元の売上高は減収
- 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス  
車載やパワー系の受注が増加
- 利益率の改善により、セグメント利益は増加



# 2017年3月期 第3四半期 財政状態(バランスシート)

(単位:百万円)	16/3月末	16/12月末
現預金	22,705	24,271
売上債権*	72,225	82,528
棚卸資産	18,942	16,628
その他	5,454	11,466
<b>流動資産計</b>	<b>119,328</b>	<b>134,895</b>
固定資産計	7,079	7,269
<b>総資産</b>	<b>126,408</b>	<b>142,165</b>
仕入債務	34,945	36,275
短期借入金	22,522	40,626
1年内返済長期借入金	2,825	1,430
その他	3,876	3,140
<b>流動負債計</b>	<b>64,169</b>	<b>81,472</b>
長期借入金	3,635	2,325
その他	874	971
<b>固定負債計</b>	<b>4,509</b>	<b>3,296</b>
<b>純資産</b>	<b>57,728</b>	<b>57,396</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>45.3%</b>	<b>40.1%</b>
<b>BPS(円)</b>	<b>3,651.57</b>	<b>3,634.79</b>

※電子記録債権含む

	前期末比	主な増減要因
総資産	+15,757	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上債権 +10,302百万円</li> <li>・その他流動資産 +6,012百万円</li> <li>・現預金 +1,566百万円</li> <li>・たな卸資産 ▲2,313百万円</li> </ul>
負債	+16,089	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期借入金 +18,104百万円</li> <li>・仕入債務 +1,330百万円</li> <li>・未払法人税等 ▲176百万円</li> <li>・長期借入金 ▲1,310百万円</li> <li>・1年内返済予定長期借入金 ▲1,394百万円</li> </ul>
純資産	▲332	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親会社株主に帰属する四半期純利益 1,575百万円</li> <li>・利益剰余金からの配当 ▲863百万円</li> <li>・その他の包括利益累計額変動 ▲959百万円</li> </ul>
自己資本比率	▲5.2%	総資産の増加と主に為替換算調整勘定の減少に伴う純資産の減少により減少



# 2017年3月期 通期連結業績

# 2017年3月期 通期連結業績／配当予想

(単位:百万円)	2016年3月期通期		2017年3月期第3四半期累計 (実績)				2017年3月期通期 (10月28日予想)		
	金額	構成	金額	構成	前年比	進捗率	金額	構成	前年比
売上高	288,684	100.0%	209,106	100.0%	▲5.4%	74.2%	282,000	100.0%	▲2.3%
売上総利益	18,250	6.3%	11,043	5.3%	▲19.0%	69.0%	16,000	5.7%	▲12.3%
SGA	11,763	4.1%	8,434	4.0%	▲3.7%	76.7%	11,000	3.9%	▲6.5%
営業利益	6,487	2.2%	2,609	1.2%	▲46.6%	52.2%	5,000	1.8%	▲22.9%
経常利益	5,448	1.9%	2,421	1.2%	▲46.3%	56.3%	4,300	1.5%	▲21.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,200	1.1%	1,575	0.8%	▲49.7%	52.5%	3,000	1.1%	▲6.3%
EPS(円)	203.88		100.37				191.12		

- 第3四半期累計連結業績は、上期の急激な円高の影響により、特に利益面で前年同期を大きく下回った
- 第4四半期は、海外スマートフォン向けが好調なこともあり、売上高は第1～第3四半期を上回る見込利益に対する11月以降の円安効果は主に4Qに実現見込
- 通期業績については、10月28日公表の予想を据え置く
- 年間配当金: 1株あたり60円(第2四半期末実績30円、期末予定30円)



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: [ir@ukcgroup.com](mailto:ir@ukcgroup.com)

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。